



大谷石採掘場をイメージした建築の表情に合う特注舗装材でアプローチを演出。

2022年に開催された栃木国体の会場となる施設を整備するPFI事業。大規模大会やプロスポーツにも使用可能なメインアリーナ・サブアリーナ・屋内水泳場・フィットネス施設等を有する大規模複合スポーツ施設です。

公園中央エリアとの接点である地下通路のレベルまで地盤を掘り下げ、2階マロニエテラスまでを緩やかにつなぐ「交流の丘」をつくり、公園としての一体性を確保しています。

また、外観は大谷石採掘場をイメージした石塊の表現とし、彫り込んだ部分には、実際に大谷石を使用することで栃木らしさを発信しています。舗装材には特注で大谷石の骨材を配合することで、建物の有機的な質感・表情と呼応した風合いあるアプローチ空間を演出しています。



栃木総合運動公園東エリア日環アリーナ栃木

事業主：栃木県
所在地：栃木県宇都宮市

特注透水性舗装材

大谷石を加工した際に出る端材を粉砕粒度調整し、製品表層部分に大谷石骨材(2~5mm)を約5%ほど配合したオリジナルリサイクル製品。自然石骨材本来の色が抽出された、美しい大谷石調のテクスチャーが特徴。表層仕上げも研磨加工、荒砥ぎ加工、ノンスリップライン+ショット加工とそれぞれ違った質感の仕様となっている。